



Cisco Intersight 管理モード移行ツールのスタートアップガイド

- [前提条件 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco Intersight マネージドモード移行ツールのインストール \(2 ページ\)](#)
- [Cisco Intersight 管理モードツールのアップグレード \(8 ページ\)](#)
- [グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した Cisco Intersight 管理モード移行ツールへのアクセス \(9 ページ\)](#)

前提条件

このセクションでは、Cisco Intersight マネージドモード移行ツールをインストールするための最小要件について説明します。

- Cisco UCS Manager: 3.2(1d) 以降のサポートされているバージョン。
- Cisco UCS Central: 2.0(1a) 以降のサポートされているバージョン。
- サポートされている ESX バージョン : ESXi 6.0 以降。
- 最小 VM 要件 : 2 つの vCPU、8 GB RAM、100 GB ストレージ。
- OVA で使用される仮想ハードウェア バージョン : 11
- ネットワーク接続の要件 :
 - TCP ポート 443 (HTTPS) (IMM 移行ツール、リリース 1.0.2 以降)
 - トラブルシューティングまたは高度な構成のための TCP ポート 22 (SSH) 。
 - 以下へのアクセスが必要です。
 - DNS (TCP/UDP ポート 53 を使用)
 - NTP (UDP ポート 123 を使用)
 - UCS Manager/UCS Central デバイス (TCP ポート 443 [HTTPS] のみ)

- Intersight デバイス (TCP ポート 443 [HTTPS] のみを使用)
- プロキシサーバー設定への接続 (ある場合)
- 構成を Intersight にプッシュするには、Intersight インスタンスへの HTTPS 接続が必要です。
 - SaaS の場合、URL は <https://www.intersight.com> です
 - アプライアンスの場合、URL はユーザーによって提供されます。

Cisco Intersight マネージドモード移行ツールのインストール

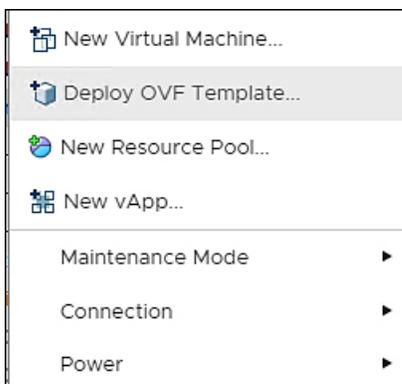
Open Virtual Appliance (OVA) は、1つ以上の仮想マシン (VM) から構成されるビルド済みのソフトウェアソリューションであり、1つのユニットとしてパッケージ、保守、更新、および管理されます。Cisco Intersight 管理モード移行ツール OVA には、オペレーティングシステムがプレインストールされており、IMM 移行ツールの機能に必要なアプリケーション機能が含まれています。OVA としての IMM 移行ツールは、VMware vSphere インフラストラクチャに展開できます。

始める前に

- [\[UCS ツール \(UCS Tools\)\]](#) ページから、OVF テンプレートの展開を開始するときに見つけやすい場所にあるコンピュータに IMM 移行 tool.ova ファイルをダウンロードします。

ステップ 1 HTML5 vSphere Web Client にログインし、**[VM]** タブに移動します。

ステップ 2 [アクション (Actions)] ドロップダウンリストから [OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] アクションボタンを追加します。



ステップ 3 追加された [OVF テンプレートの展開 (Deploy OVF Template)] ボタンをクリックします。

テンプレートの選択を求める新しいウィンドウが表示されます。

Deploy OVF Template

1 Select an OVF template

2 Select a name and folder

3 Select a compute resource

4 Review details

5 Select storage

6 Ready to complete

Select an OVF template

Select an OVF template from remote URL or local file system

Enter a URL to download and install the OVF package from the Internet, or browse to a location accessible from your computer, such as a local hard drive, a network share, or a CD/DVD drive.

URL

http | https://remoteserver-address/filetodeploy.ovf | .ova

Local file

Choose Files IMM-Migration.ova

CANCEL BACK NEXT

- ステップ 4** [ファイルの選択 (**Choose Files**)] をクリックし、ダウンロードした OVA ファイルを選択します。
- ステップ 5** [次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 6** 仮想アプライアンスを展開する場所を選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 7** 仮想アプライアンスの実行に使用するリソースを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- 3 Select a compute resource**
- 4 Review details
- 5 Select storage
- 6 Ready to complete

Select a compute resource
Select the destination compute resource for this operation

Server [REDACTED]

- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]
- > [REDACTED]

Compatibility

✓ Compatibility checks succeeded.

CANCEL BACK NEXT

高度な構成オプションを含むパッケージの詳細を確認します。

Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- 4 Review details**
- 5 Select storage
- 6 Select networks
- 7 Customize template
- 8 Ready to complete

Review details
Verify the template details.

Publisher	No certificate present
Download size	2.1 GB
Size on disk	5.2 GB (thin provisioned)
	100.0 GB (thick provisioned)

[CANCEL](#) [BACK](#) [NEXT](#)

ステップ 8 [次へ (Next)]をクリックして、これらのオプションを受け入れます。

ステップ 9 データストアのリストから目的の保存場所を選択し、[次へ (Next)]をクリックします。

Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- ✓ 4 Review details
- 5 Select storage**
- 6 Select networks
- 7 Customize template
- 8 Ready to complete

Select storage
Select the datastore in which to store the configuration and disk files

Encrypt this virtual machine (Requires Key Management Server)

Select virtual disk format: Thick Provision Lazy Zeroed ▾

VM Storage Policy: Datastore Default ▾

Name	Capacity	Provisioned	Free	Type
 [REDACTED]	92.5 GB	973 MB	91.55 GB	VM
 [REDACTED]	1.5 TB	1 TB	509.62 GB	VM
 [REDACTED]	1.5 TB	1.28 TB	264.34 GB	VM

Compatibility

✓ Compatibility checks succeeded.

CANCEL BACK NEXT

ステップ 10 各送信元ネットワークのドロップダウンリストから宛先ネットワークを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

Deploy OVF Template

- ✓ 1 Select an OVF template
- ✓ 2 Select a name and folder
- ✓ 3 Select a compute resource
- ✓ 4 Review details
- ✓ 5 Select storage
- 6 Select networks**
- 7 Customize template
- 8 Ready to complete

Select networks
Select a destination network for each source network.

Source Network	Destination Network
VM Network	VM Network

1 items

IP Allocation Settings

IP allocation: Static - Manual

IP protocol: IPv4

CANCEL BACK NEXT

ステップ 11 [ネットワーク (Network)] 設定値を入力し、[システム パスワード (System Password)] を設定することにより、展開プロパティをカスタマイズします。

自動生成されたデフォルト パスワードは、変換された仮想メディア、iSCSI ブートなどの UCS Manager ポリシー/USC Central ポリシーの既存のパスワードの代わりに使用されます。同様に、別の自動生成されたパスワードは、iSCSI ブート ポリシーの相互 CHAP 認証に使用されます。

(注) 変換されたポリシーが Intersight にプッシュされた後、それらのパスワードを変更する必要があります。

ステップ 12 [次へ (Next)] をクリックします。

構成データを確認します。

ステップ 13 [更新 (Refresh)] ボタンをクリックしてシステムを更新します。

VM が中央のウィンドウ ペインに表示されます。

ステップ 14 VM を選択し、[Power On] をクリックします。

ステップ 15 VM の電源がオンになったら、[コンソールを開く (Open Console)] アイコンをクリックして、新しいウィンドウで VM コンソールを開きます。

OVA テンプレートが正常に展開され、VM の電源がオンになりました。

Cisco Intersight 管理モード ツールのアップグレード

CLI を使用してツールを 3.0.1 または 3.0.2 からより上位のバージョンにアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. アップグレードを開始する前に、VM のスナップショットを取得します。
2. ダウンロードした上位バージョンの tar ファイルを下位バージョンの VM にコピー (SCP) します。
3. 次のコマンドを実行します。

```
sudo imm_upgrade -p <downloaded_tar_file>
```

これが完了するまで数分かかります。

以下に示すように、ファイルの検証とアップグレードプロセスが開始されます。

情報：ファイル形式の検証に成功しました

情報：バージョンの検証に成功しました

情報：MD5 ハッシュの検証に成功しました

情報：アップグレードしています...

情報：アップグレードが成功しました。サーバーの再起動

情報：サーバーが再起動しました



(注) アップグレードが失敗した場合に備えて、VM の最後のスナップショットにロールバックすることをお勧めします。

グラフィカルユーザーインターフェイスを使用した Cisco Intersight 管理モード移行ツールへのアクセス

ブラウザウィンドウから Cisco IMM 移行ツールのユーザーインターフェイスにアクセスして、移行準備レポートを生成し、UCS ドメインを IMM 設定に変換できます。

ステップ 1 Web ブラウザ ウィンドウを起動します。

ステップ 2 `http://<VM IP address>` または `https://<VM IP address>` を入力します。VM IP アドレスは、Cisco IMM 移行ツール OVA を展開した VM の IP アドレスです。

IMM 移行ツール リリース 1.0.2 以降は、HTTPS サポートを提供します。すべての http URL は https にリダイレクトされます。

ステップ 3 [Login (ログイン)] ダイアログボックスに、ユーザー名とパスワードを入力します。

ユーザー名：admin

パスワード：インストール時に [テンプレートのカスタマイズ (Customize template)] ページで設定したパスワードを入力します。

ステップ 4 [サインイン (Sign In)] をクリックします。

ユーザーセッションを終了するには、右上隅のユーザー設定から [ログアウト (Log Out)] をクリックします。

- (注) **セッションタイムアウト** : IMM 移行ツール リリース 1.0.2 以降では、非アクティブな状態が 30 分間続くと、セッションから自動的にログアウトされます。アプリケーションを再度使用するには、再ログインする必要があります。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。